



天平の匠に挑む

古代の知恵 ◆vs◆ 現代の技術

Endeavors in Master Craftsmanship in the Tenpyō Era
Ancient Wisdom and Modern Technology

2021.8.17(火) - 2021.10.8(金) ◆ ギャラリー エー クワッド

開館時間：10:00-18:00(土曜・最終日は17:00まで) ◆ 休館日：日・祝日 ◆ 入場無料

主催：公益財団法人竹中育英会、公益財団法人ギャラリー エー クワッド ◆ 企画：公益財団法人竹中大工道具館 ◆ 特別協力：唐招提寺
協力：金沢工業大学、京都大学 生存圏研究所、東京国立博物館、奈良県文化財保存事務所、奈良文化財研究所、株式会社竹中工務店、凸版印刷株式会社



a. 唐招提寺金堂 組物解体の様子



b. 唐招提寺金堂 平成修理の構造補強



c. 年輪読み取り器



d. 唐招提寺金堂 十分の一模型(正面)



e. 唐招提寺金堂 十分の一模型(断面)



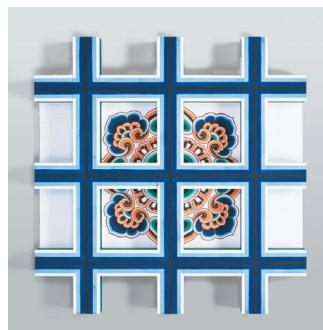
f. 唐招提寺金堂 実物大組物模型



g. 唐招提寺 創建当初古材(8世紀)



h. 唐招提寺金堂 扇宝相華彩色復原図



i. 唐招提寺金堂 身舎天井彩色復原模型

j. 唐招提寺金堂 身舎支輪彩色復原模型
(部分展示)

資料所蔵 c: 奈良文化財研究所 / d, e: 東京国立博物館 / f~j: 唐招提寺
写真提供 表面, a~c, h~j: 奈良県文化財保存事務所 / d, e: 東京国立博物館
※d, eは東京会場のみ展示

天平の匠に挑む

古代の知恵 ◆ 現代の技術

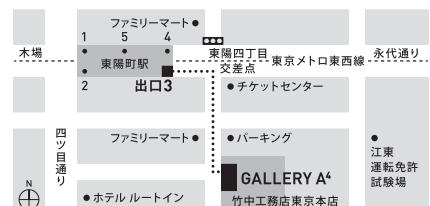
Endeavors in Master Craftsmanship in the Tenpyō Era
Ancient Wisdom and Modern Technology

2020年12月「伝統建築工匠の技—木造建造物を受け継ぐための伝統技術」がユネスコ無形文化遺産に登録され、古くから継承してきた17分野の技術が世界に認められました。本展では遺産登録を記念して、保存修理工事において最新の科学技術を駆使して謎の解明に取り組む技術者の知恵に注目します。古代の匠が千年以上もつ建築をどのように造ったのか、また建築を未来へ継承するために現代技術がどのように活かされたのか。本展では、1200年前の天平時代に建てられた国宝・唐招提寺金堂の平成大修理を通して、建築技術・彩色復原・木材などに焦点を当て、古代と現代の技術について対比的に紹介します。

本展は下記の会場を巡回します。

神戸会場: 2021年10月16日(土)~12月12日(日) 竹中大工道具館

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後会期や休館等の情報が変更となる可能性があります。
最新情報はギャラリーエーグッドの公式サイトをご確認ください。



東京メトロ東西線「東陽町駅」下車、出口3番より徒歩3分

お問合せ
ギャラリー エー クワッド事務局
東京都江東区新砂1-1-1
竹中工務店東京本店1F
Tel: 03-6660-6011
E-mail: gallery@a-quad.jp
公式サイト: www.a-quad.jp

